未来を、ひろげる。
HIROGIN HOLDINGS

経済産業Report

2026年11月13日
Vol.26

AI投資拡大と長期金利上昇
～長期金利を押し上げる新たな要因～

AI需要拡大が牽引する投資ブーム

WSTS（世界半導体市場統計）の予測によれば、AI普及の広がりを受けてAI向けサーバーやデータセンター需要が拡大しており、世界の半導体市場は一段と上方修正されています（**図表１**）。同時に、AIを支えるデータセンターや電力インフラへの投資も拡大しており、AI関連投資は世界経済を支える重要な成長要因となっています。

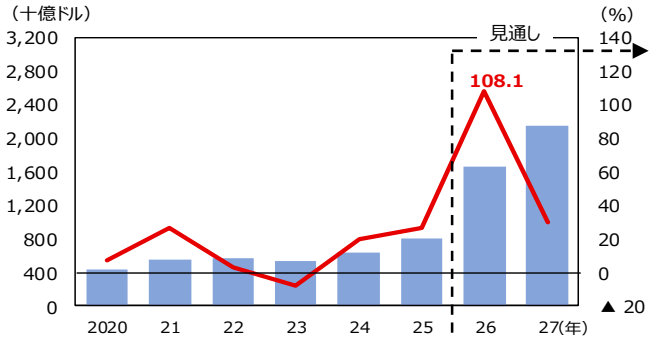
一方で、AI関連投資の拡大は巨額の資金調達を伴います。BIS（国際決済銀行）によれば、ハイパースケーラーと呼ばれる米国の大手テクノロジー企業ではデータセンター投資が急増しており、これに伴い社債発行などを通じた資金調達も大幅に増加しています。今後は多額の償還が予定されており、投資に見合う成長や収益が確保できるかが重要なポイントとなっています（**図表２**）。

民間・政府部門の資金需要拡大と長期金利の上昇

こうした中、長期金利を巡る市場環境にも変化がみられています。従来、長期金利の上昇は、財政赤字の拡大や国債増発、インフレ率の上昇などが主な要因として捉えられてきました。しかし近年は、AIの普及を支える大規模投資が世界的に続いていることから、その動向が金融市場へ与える影響にも注目が集まっています。特に米国では、データセンターや電力インフラへの投資が拡大しており、民間部門の資金需要も高まっています。このため市場では、AI関連投資が長期金利を押し上げる新たな要因として認識されつつあります（**図表３**）。

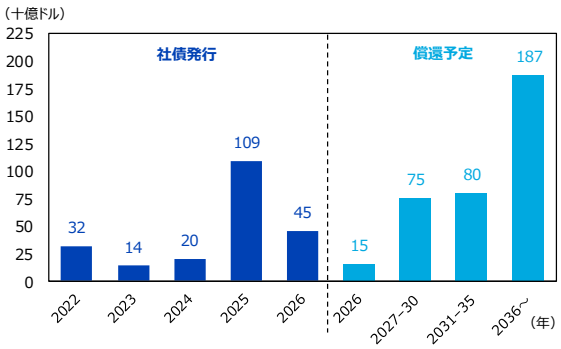
もっとも、AI投資の先行きには不確実性も残されています。AIは中長期的な成長分野として期待される一方、足元の投資拡大ペースが維持されるかは不透明です。また、一部地域では、電気料金の上昇懸念や、雇用創出といった地元への恩恵が乏しいことからデータセンター建設への反対運動もみられており、電力確保や設備建設コストの上昇も投資拡大の制約要因となる可能性があります。今後、AI投資が想定通り拡大するのかを含め、関連投資の動向を注視していく必要があります。

図表１　世界半導体市場（販売額）の推移



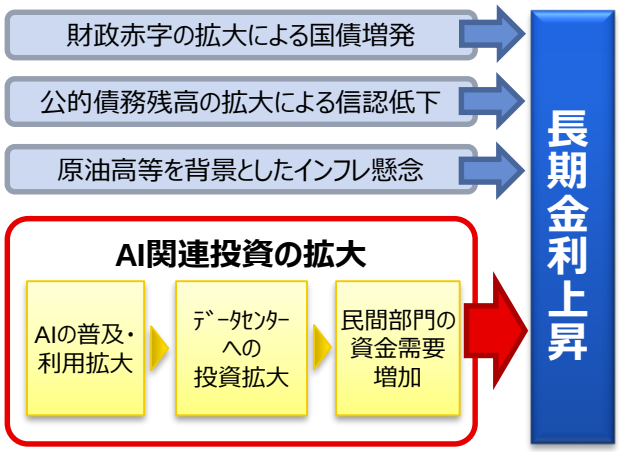
（資料）WSTS資料よりひろぎんHD経済産業調査部作成

図表２　ハイパースケーラーの社債発行額と償還予定額



（資料）BIS資料よりひろぎんHD経済産業調査部作成

図表３　長期金利上昇の背景



品質向上のため
アンケートにご協力ください。

PCの方は
コチラを
クリック

※ ナインアウト株式会社が提供するアンケートサイトへ遷移します。

◆ 本資料は情報提供のみを目的として作成されたものであり、何らかの行動を勧誘するものではありません。
◆ 本資料は、信頼できると思われる情報に基づいて作成されていますが、その正確性を保証するものではありません。また、本資料に記載された内容等は作成時点のものであり、今後予告なく修正、変更されることがあります。資料のご利用に関しては、お客さまご自身の責任において判断なされますよう、お願い申し上げます。
◆ 本資料に関連して生じた一切の損害については、責任を負いません。その他、専門的知識に係る問題については、必ず弁護士、税理士、公認会計士等の専門家にご相談のうえ、ご確認ください。
◆ 本資料の一部または全部を、当社の事前の了承なく複製または転送等を行うことを禁じます。
◆ 本件に関するご照会は、ひろぎんHD経済産業調査部　担当：唐井（TEL082-247-4958）までお願いします。